

笑顔あふれるふるさとに

山梨県議会議員 Member of the House of Councilors of Yamanashi Prefecture

福井太一

Taichi Fukui

えがお夢 県政レポート

vol. 04 2024.4

福井太一事務所 北杜市武川町宮脇 2162-1 TEL&FAX 0551-26-3755

プロフィール

1976(昭和51)年3月1日生まれ
武川村生まれ 武川村育ち
山梨県立韮崎高等学校卒業
横浜国立大学教育学部卒業

1975年 山梨県スポーツ少年団リーダー会会長
1998年 小淵沢町立小淵沢小学校で教職に就く
2000年 上野原町立桐原小学校に勤務
2005年 長坂町立小泉小学校に勤務
2013年 北杜市立泉小学校に勤務
2021年 山教組執行委員長/連合山梨副会長
2023年 山梨県公立学校職員を退職

2023年 山梨県議会議員に初当選
土木森林環境委員
指定管理施設・出資法人調査特別委員
やまなし子どもの貧困対策推進政策提言案作成委員
山梨県立韮崎高等学校PTA副会長
2024年 総務委員会所属

あいさつ

若草の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
昨年4月9日に、11,294票という大きな力をいただき、初当選をつかむことができました。この間、たくさんのご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
笑顔あふれるふるさと北杜、山梨にしたい！誰もが夢を語り実現できる社会にしたい！その一心で無我夢中で取り組んでまいりました。皆様のお陰で、地域課題の解決に向けて一歩前進することができました。
まだまだ、いただいたご期待に応えきれないことばかりですが、今後も皆さんの声を聞かせていただき、政策に反映させるべく精進してまいります。
引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

山梨県議会議員 福井太一

[令和6年2月定例会 土木森林環境委員会 (令和6年3月6日~7日)]

中部横断道北部区間(長坂一八千穂間)について

問 福井：1月の説明会では、国・県・市の担当者が丁寧に説明を行っていた。一方、説明会後のアンケートでは、参加者の約3割が「満足をしていない(恐らく「説明に納得していない)」と回答している。全体の計画には賛成でも、地域住民には個別に様々な不安があることも事実である。今回(1月)の説明会の手ごたえと、地元・地域住民が抱える不安に対する今後の対応について伺う。



答 高速道路推進課長：1月下旬、2会場4日間の日程で説明会を行いました。延べ463名の方に来場いただき、個別対応も含め、丁寧に説明を行うことができました。アンケートで約7割の方から「よかった」と回答いただいたことから、本件に係る理解は深まったと認識しています。地元・地域住民の不安に対しては、これまでもそれぞれの段階に応じて説明してきましたが、本件についてより深く理解していただくためには、引き続き丁寧な対応が必要と考えています。今後も、地元・地域住民から説明を求められた場合は、適切に対応してまいります。

地元の声に耳を傾けた、丁寧な計画遂行を！

ユネスコエコパーク推進費について

問 福井：本県は、ユネスコエコパークが2つもある全国でも類を見ない県である。今年、南アルプスユネスコエコパークが登録10周年を迎えるということで、エコパークの役割や効果等に関する普及・啓発活動にしっかり取り組んでいく必要があると考える。「ユネスコエコパーク推進費」の中に南アルプスユネスコエコパークは含まれているのか伺う。



答 自然共生推進課長：ユネスコエコパークについては、甲府市のユネスコエコパークの負担金となっているため、南アルプスユネスコエコパークは含まれていません。南アルプスユネスコエコパークについては、構成市町村の事務局が持ち回りしています。県は「参与」という形で関わっており、直接運営をしているのは市町村となります。

南アルプスユネスコエコパーク10周年。県と市町村で連携し、一層の盛り上げを！

山梨県環境整備センター(明野処分場)について

問 福井：明野の処分場について、地元への説明会が予定の1月から2月の実施となった経緯を伺う。また、説明会参加者の声から、県に最後まで責任持って施設の維持管理に当たってほしいという願いが強いと認識している。施設の維持管理に関する今後の見通しについて併せて伺う。

答 環境整備課長：説明会については、当日参加できない住民の方を考慮して予め資料を配布することにしたこと、開催通知の回覧に一定の期間を要すること等に鑑み、実施を2月としました。説明会を受けて、地元住民の皆様が施設の維持管理体制について特に心配なさっていると承知しています。「県職員の常駐による維持管理」「地元との信頼関係に基づいた維持管理」を望む声があることから、県としては施設の維持管理体制について今後も検討を続け、しっかりと説明に努めてまいります。

地元住民との信頼関係に基づいた適切な施設の維持管理を！

登山道整備に係る申請書類の簡略化について

問 福井：6月の委員会で質問した「登山道整備に係る申請書類の簡略化」については、迅速な整備の実施や、申請者と担当職員の負担軽減といった点から重要であると考えている。申請書類の簡略化に係る検討の進捗状況について伺う。

答 県有林課長：登山道の整備は、登山者の安全確保の他、林地の保全にも資するものであり、県有林の管理経営上のメリットが大きいと考えています。今後、県有林内の登山道の維持管理に枯損木を用いる場合、申請者に対し「木材を売る」のではなく、「使用を承認する」という形にすることとしました。これにより、申請者は使いたい枯損木の状況が分かる写真を添付することで手続きすることができます。1本1本寸法を測る必要がなくなるため、申請者と事務処理に当たる職員双方の負担軽減につながるものと考えています。申請に係る書類の様式等、詳細が定まり次第、速やかに適用したいと考えています。



申請者・職員双方の負担軽減を図り、より効果的な登山道整備の推進を！

森林環境教育推進事業費について

問 福井：やまなし森林教育・木育推進協議会が行っている、木育キャラバンの具体内容について伺う。

答 森林整備課長：木育キャラバンは、主に家族連れを対象に、木のおもちゃなど、木に直接触れただけの機会を設けるイベントです。イベントを通して、木を利用することの大切さを学んでいただきたいと思います。

県有木材に触れられるよい機会。引き続き取り組みの推進を！

土木施設等情報発信事業費について

問 福井：「やまなしインフラ魅力発信事業」は、インフラの価値や魅力、役割に関する理解を促進する上で効果が期待できる。情報発信（Instagram）について、現状とフォロワー獲得に向けた取り組み、インスタ利用者の声や今後の展開について伺う。

答 景観まちづくり室長：Instagram（令和4年3月開設）では、特に若者をターゲットに、動画等を用いて工事現場の様子やイベント・就職情報などの情報を発信しており、現在では約2,700人の方にフォローしていただいています。フォロワー獲得に向け、令和5年度は、期間中にインスタをフォローすると、抽選で県内の日帰り温泉利用券などが当たる「フォロー&いいねキャンペーン」を行いました。インスタをフォローしていただいた方からは、「魅力たっぷりな山梨を楽しみたい」といった好意的な声を多数いただいています。今後も取り組みを通して、多くの方にインフラ施設への興味を持っていただくと共に、インフラへの理解促進や担い手確保を進めてまいります。



県土整備部インスタ
フォローください！

インフラに対する理解促進、建設業の担い手の確保につながるよう、今後も工夫した取り組みを！

農林大学校森林学科運営費について

問 福井：専門学校県立農林大学校の北杜市のキャンパスを訪ねた際、生徒の皆さんが意欲的に学んでいる姿を拝見した。一方で、キャンパスの施設は老朽化がひどく、資材についても修理をしながら何とかつなぎとめているという様子が見られる。施設の整備・充実について今後の見通しを伺う。

答 林業振興課長：農林大学校の施設については、これまでも整備を続けてきましたが、十分でないところについては、令和6年度予算において引き続き整備を進めていく予定です。今後も施設の劣化等が生じることが想定されることから、学校との連絡を密にしながら、施設をはじめ、教育環境の整備に努めてまいります。

農林業の担い手育成を担う重要な機関。機能的な予算執行で、さらなる整備・充実を！

金川公園管理費について

問 福井：県森林公園金川の森は、週末を中心に親子連れなどでにぎわう魅力的な施設である。遊具ローラー滑り台の修繕費用（2月補正予算・635万円）に続き、今回計上された施設の維持修繕費等（895万7,000円）について、具体的な中身を伺う。

答 県有林課長：当初予算の修繕費の中身については、遊具の修繕だけでなく、遊具の点検費、森林整備事業費等で構成しています。

県民にとって大切な公園で、子育て世帯を中心に賑わっている。適切な点検・修繕で安心・安全な公園整備の推進を！

おもてなし森林景観創出事業費について

問 福井：おもてなし森林景観創出事業費は、景観保全のための看板設置、支障木の伐採等に係る費用と承知している。例えば、釜無川付近からの景色はアニメ「スーパーカブ」の“聖地”として知られているが、アニメのビジュアルと実際の景色との相違がたびたび指摘されていた。県や市に協力いただき支障木の伐採を行ったところ、来訪者が大変喜び、写真撮影などを楽しむ姿も多く見られた。このように、景観の整備は、県外からの誘客にもつながるものと考えられる。そこで、令和5年度の取り組み状況について伺う。



答 県有林課長：この事業は、森林の中から景観の創出をするという事業であり、令和5年度は北杜市の大泉町をはじめ、甲府市や甲斐市など5市町8か所で整備を実施しました。令和6年度についても、7か所の整備を行う予定です。

誘客にもつながる景観保全。計画的かつ迅速な実施を！

ごみ減量化推進費について

問 福井：ごみの減量化推進費（プラスチックスマート推進事業費）に関して、計画されている「環境学習会」の具体的な内容を伺う。また、学習会の類は「学校に教材やパンフレットを配布して終わり」となってしまうことが懸念される。そうならぬよう、例えば学校への出前講座の実施等を検討していただきたいがどうか。

答 環境整備課長：環境学習会については、県内の河川敷における散乱ごみの状況調査と合わせて実施することを考えており、県民に対しプラスチックごみ削減に向けた啓発を図りたいと考えています。特に子どもたちには、学習会でプラスチックごみ削減に関する説明を行ったり、県が所有している「トランク・ミュージアム（県内の河川や湖で拾った漂着物が入っている移動式の小さな博物館）」を活用して、河川ごみ・海洋ごみに対する理解促進を図ったりしたいと考えています。

ごみの減量化に向けた実効性ある取り組みを推進し、美しく安全な故郷を後世に！

北杜市武川町内の産業廃棄物不適正保管について

問 福井：北杜市武川町内における廃棄物の一時保管場所について、保管量超過解消に向けた搬送がなかなか進んでいない状況があると認識している。県は当該事業地の見回り等をどの程度行っているのか伺う。また、現在の保管量はどの程度であるか、併せて伺う。

答 環境整備課長：事業地については、定期的な立ち入り検査と監視カメラによる監視を併せて実施しています。また、事業地における廃棄物保管量（3月1日時点）は、2,636立米であり、保管上限22立米を2,614立米超過している状況です。

保管量超過解消に向け、定期的な監視の継続により、地元住民の不安解消を！



活動の様子



■1月21日 山梨県PTA協議会の研修会に参加



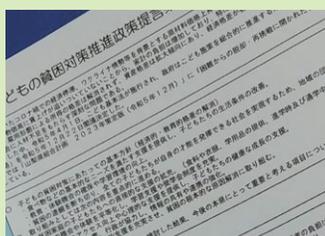
■1月26日 日教組の全国教育研究全国集会に参加



■1月28日 標識が枝に隠れ交通に支障が。河川国道事業所へ連絡。迅速な対応に感謝



■2月7日 北方領土の日 甲府駅で啓発キャンペーン



■2月8日 子ども貧困対策推進政策提言案作成委員会に出席。真に必要なとしていることが反映できるように



■2月16日 北杜市役所にて地域の課題を担当課と共有改善に向けて働きかけます



■2月29日 朝の挨拶 交通安全ボランティアの方と安全策について意見交換



■3月23日 平山郁夫シルクロード美術館開館20周年記念式典に伺いました



■3月26日 リニアに試乗し時速500kmを体験

日常的な活動はSNSで常時発信しています。県政への率直なご意見をお聞かせください！！



福井太一事務所

北杜市武川町宮脇 2162-1
TEL&FAX 0551-26-3755